

一般質問

市政全般にわたり19人の議員が質問しました。
※4~7面にわたり掲載

子ども会議等の子どもの意見表明の場をつくることへの見解を問う



長瀬 未紗 議員《会派に属さない議員》

子どもの権利条約には「子どもの意見の尊重」という原則があり、「子どもは自己に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。」となっています。国内法では、こども基本法が2023年4月に施行され、子ども施策の策定等に当たり、子どもの意見を反映することが地方自治体にも求められています。大和市議会には、定期的な子ども会議の開催、意見を持った子どもが参加する場や自由に意見を言える環境、意見を聴く大人の存在とその意見が反映される仕組みづくりを要望

する請願が小学5年生から提出されました。多くの子どもの声を代弁していると私は捉えています。子どもたちの意見を聞くことについて、見解を伺います。

市長 子どもたちの意見を聞くことは大変重要であり、子ども会議にかかわらず、様々な方法を検討していきたく考えています。

教育長 誰もが意見を言いやすい雰囲気をつくることや、多様性を認め、誰もが安心して過ごせる居場所となる学校づくりがとても大切だと考えています。子どもの権利条約についても、子どもたちに伝えていきたいと思っています。

近隣市との広域連携を加速せよ!



吉田 義人 議員《自民党・いさま》

本市は市域が狭く、人口密集市でもあることから、広域連携の推進は不可欠な行政手法と言えます。令和5年7月に大和市、海老名市、座間市、綾瀬市の4市による新たな広域連携に向けて大和広域広域連携懇話会が発足しましたが、本市がこの懇話会において提唱したもので、今後実施予定のもの伺います。また、当該4市以外の他市との連携協力について見解を伺います。

総合政策部長 本市が提唱したもので、今後実施予定のものはありません。大和広域広域連携以外の枠組みについては、共通の行政課題等の情報交換を行い、連携によって解決が見込まれるものについて検討しています。この4年間で、他市との間で人材の相互協力として取り組んだものはありません。今後の人材の相互協力については、行政課題の解決手段として、選択肢の一つと捉えています。

人材不足が大きな課題になると思います。事務の相互協力や職員の共同活用等の検討、取組を行うべきではないかと考えますが所見を伺います。

本市の通勤距離と時間距離に関する改善策について



京免 康彦 議員《自民党・いさま》

本市には複数の鉄道駅がありますが、急行が停車しませんが、そのため、都心への通勤距離が長くなり通勤時間も延びています。これにより市民の移住選択に影響が出ており、急行が停車する海老名市や厚木市への人口流出が見られます。通勤時間の延長は、市民の経済的負担や生活の質の低下につながり、地域経済にも悪影響を及ぼす可能性があります。また、急行停車駅の不在は本市の魅力減少させ、市民の居住選択に影響を与えています。急行停車の実現を目指し、鉄道会社との協議を行うべきかと考えますが、見解を伺います。

都市部長 急行列車の停車駅となることで、利便性が向上し、新たな市民の居住先として選ばれることが期待できます。しかし、本市は都心や横浜方面へのアクセスが良いものの、乗降客が分散する傾向が見られ、ターミナルとなる駅を有していません。鉄道事業者として急行停車駅とし難いと想定されますが、相武台前駅は市民体育館、市役所、市民文化会館などの公共施設の最寄り駅であり、都市マスタープランでも地域拠点としており、通勤・通学時間帯の急行停車を、神奈川県鉄道輸送力増進促進会議を通じ、鉄道事業者に要望しています。

佐藤市長の指示で車止めを外し、条例を遵守できない状況



内藤 幸男 議員《自民党・いさま》

車止めが外された場所は、市道座間81号線で、都市計画公園区域と道路区域が重複して設定されている微妙な場所であり、北上した場所は公園区域になっているとのこと。車止めを外したことから、都市計画公園内に車が自由に進入できるようになると思いますが、都市公園法等の関係法令に照らして、問題がない状況なのか伺います。

都市部長 座間市都市公園条例では、第5条において、指定場所以外の車両の進入、駐車場の禁止を定めています。現在は同規定を満たすことができず、状況です。

間市都市公園条例を遵守できない状況だと答弁しています。その状況をつくったのは車止めを外したからです。危険が解消されていないことや、条例を遵守できていないのに、なぜ市長はトップダウンで政策決定をして、車止めを外したのか伺います。

市長 車止めがされていたからかは分かりませんが、以前は頻りに駐車されていたことを確認しています。現状は、路上に駐車はされていない状況なので、車止めを一度外して様子を見たいと言いました。今は状況を見ているところで、その上で今後の対応を考えていきたいと思っています。

みどりの食料システム戦略を進めるための有機農産物等の出口戦略について



須崎 友康 議員《会派に属さない議員》

学校給食において安心・安全な有機農産物を使用することは、児童・生徒の健康面や教育の観点からもよいことですが、保護者の食材費負担の課題があります。有機農産物を学校給食に使用している千葉県いすみ市では、有機農産物を学校給食で使用することは、食育だけでなく、環境保全政策や、産業振興政策でもあることから、差額分を一般財源から充当しています。有機農産物等を学校給食で使用することの効果について見解を伺います。

再質問 生産した農産物全量を学校給食で使用してもらえれば、農家も安心して有機農業に取り組みると思いますが、見解を伺います。

教育長 金額面と生産量や質の課題があると考えます。小学校給食では、1食当たり273円の食材費で給食を実施しています。その中で有機農産物を使用する場合は、座間産米で実施しているように、価格調整のための政策が必要であると考えます。また、安定した生産量と質が担保できれば、学校給食で使用することは十分可能だと考えます。

地域づくり部長 有機農業の推進や販路の確保、子供の環境保全に対する意識向上な

環境保全に対する意識向上な

議会日誌

- 5/16 京都市府亀岡市議会視察 来訪
- 17 北海道網走市議会視察 来訪
- 22 全国市議会議長会第100回定期総会・東京都千代田区
- 23 都市公園等車両進入等の手続きマニュアルに関する調査特別委員会
- 24 議会運営委員会
- 31 第2回定例会本会議 予算決算常任委員会
- 6/6 第2回定例会本会議 第2回定例会本会議
- 7 第2回定例会本会議 議会運営委員会